

# ござえんちや

水沢商業高校学校通信 第9号  
平成23年12月22日発行

校 訓

明 淨 直



TEL 0197-24-2101 FAX 0197-24-2102 URL <http://www2.iwate-ed.jp/msc-h/index.html>

## 行く年来る年

今年は、東日本大震災や福島原発問題など歴史に残る未曾有の悲惨な大災害が起きた一年でした。12月19日現在で全国では死者15,842名、行方不明者3,481名であり、岩手県では死者4,665名、行方不明1,375名となっています。被災された方々や犠牲になられた方をお持ちのご家族の心情は筆舌に尽くしがたい深い悲しみや苦しみで一杯だと思えます。

17日(土)に大船渡市で開催された岩手県水泳連盟感謝状贈呈式並びに大震災犠牲者合同お別れ会に本校の3名の先生方と参列してきました。以前本校に勤務したことのある小野寺(毛利)素子先生は高田高校で水泳部の顧問をしており、高田松原のB & G海洋センターのプールで練習していた水泳部員を心配し、駆けつけたまま帰らぬ人となってしまいました。水泳部員のうち7名が犠牲となり、素子先生と生徒1名はまだ見つかっていません。悪魔と化して襲いかかってきた津波が一瞬にしてすべてを飲み込んでしまいました。素子先生や生徒の皆さん、そしてご家族の皆さんの無念さ、悲しみ、苦しみは計り知れません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

最近、過去の地震や津波について新聞やテレビ等で多く取り上げられています。報道によると、今回の東日本大震災は千年に一度の大震災ですが、三陸地方に大打撃を与えた大震災は、過去にも例えば貞観地震(869年)や慶長地震(1611年)があり、明治三陸地震(1896年)も大きな被害を出しています。地

## 校長 工藤昌雄

形上、日本は宿命的に地震や津波の被害を長年受けてきた国です。

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし」の書き出しで有名な鎌倉時代の鴨長明も天災や飢餓、竜巻などと同様に地震や津波の恐ろしさを『方丈記』に記しています。その中では修学旅行で訪れる奈良の大仏の首が斉衡の大地震(855年)で落ちたことも述懐しています。日本は、常に地震や津波の被害を受けてきました。しかし、そのような状況の中でも、日本民族はその甚大な被害や苦しみを乗り越え、今日の繁栄を築いてきました。今、現在、日本に住み、生きている私達がしなければならないことは、この大震災を教訓にし、二度と同じ被害を繰り返さないように対策を講じることであり、同時に犠牲になられた多くの人々の思いを引き受け、明るく輝かしい未来を創造していくことだと思えます。それが責務なのです。

あと十日ほどで新年、平成24年を迎えますが、生徒の皆さんにも是非今回の東日本大震災を乗り越え、新たな明るい未来を、希望に満ちた岩手を創るために、自分でできることから今後も継続して力を尽くしてほしいと思っています。来る新年が生徒の皆さんにとって素晴らしい輝かしい年になるよう心から祈念いたします。

## 1月行事予定

- 1月 5日(木) ~ 6日(金) 3年進学課外
- 8日(日) 全国商業高等学校英語スピーチコンテスト(東京)
- 11日(水) ~ 12日(木) 3年進学課外
- 13日(金) 全校集会、1・2年課題テスト
- 16日(月) ~ 20日(金) 簿記検定課外
- 18日(水) 3年生の進路体験を聞く会
- 20日(金) 実用英語検定(STEP)
- 22日(日) 全商簿記実務検定
- 23日(月) ~ 27日(金) 情報処理検定課外
- 23日(月) ~ 24日(火) 2年進学模試
- 26日(木) 推薦入試
- 29日(日) 全商情報処理検定
- 31日(火) ~ 2月3日(金) 3年学年末考査



## 楽しかった修学旅行

12月4日(日)から8日(木)までの5日間、京都・奈良・大阪へ修学旅行へ行ってきました。

この旅行では、まず「楽しむ」ことを第一の目標としました。ただし、自分が楽しければよいということではなく、修学旅行団全体が「楽しむ」という意味です。個人の行動が、全体へ大きく影響するということをふまえた上で行動することを強く伝えてきました。

実際に修学旅行に行くと、集合時間に遅れまいと急ぐ姿や、全員いるかどうかを気にかける様子などから生徒の責任感の強さや思いやりの心を感じ、感心させられました。また、ホテルの方々や旅行に携わった方々から、たくさんお褒めのことばを頂いて参りました。この生徒達と旅行できたことを、とても誇らしく思いました。

この旅行の経験を基に団体行動や他人を思いやる心を培い、社会に貢献できる人物へと更に成長してもらいたいと思います。

なお、5日間の楽しい様子は、ホームページでもご紹介しておりますので、ぜひご覧下さい。



## いわてユネスコ特別賞受賞!

12月1日(木)、岩手県ユネスコ協会連盟の方が校長室を訪れ、「いわてユネスコ賞特別賞」を本校生徒会に贈って下さいました。この賞は、東日本大震災の復興支援に寄与した団体・個人に贈られるもので、本校と水沢一高など5つの団体や個人が受賞しました。

本校は、部単位やクラス単位など全校で陸前高田市でがれきやごみ撤去、側溝の泥出し、田畑の除草などを行った被災地支援活動の他、募金活動、教材(電卓)支援などの活動が認められ、受賞となりました。特に生徒会の”I can do it!”(わたしにできること)というスローガンの下、全校での活動は素晴らしいということでした。

12月7日に水沢一高と共に奥州市長に活動報告に行った際にも前生徒会長の小野寺美奈さんは「私たちができることがボランティアだった。受賞をゴールとせずスタートに変えて、これからも復興に携わりたい」と述べ、継続して復興に協力していく決意を新たにしました。

おめでとうございます。



## 水商祭代替行事行われる

今年には校舎の耐震工事の影響を受け、ステージ・展示・お茶会と三部門に分けて水商祭代替行事を開催しました。

【ステージ部門】12月15日(木)

午前は商業研究選抜・英語スピーチ・選択音楽・応援団・吹奏楽の発表が行われました。各団体の努力の成果により、観客からも大きな拍手がおこり「瞬間(とき)の華」というテーマのとおり皆さんの心に大きな華が咲いたと思います。午後は生徒会企画が行われ、男装女装コンテスト・クイズとともに全校生徒の笑顔が見られ、楽しめる内容となりました。閉会式終了後にはPTA役員から餅まきをしていただき大いに盛り上がりました。

【展示部門】12月15日(木)~19日(月)

商事実習室に、美術部、書道選抜、選択書道、選択美術、定時制作品、インターンシップの工夫を凝らした作品が多数展示され、素晴らしい展示会となりました。

【お茶会】12月14日(水)・16日(金)

水商会館で茶道部によってお菓子とお茶が振る舞われました。初めてお点前を披露する生徒も多く、楽しい会となりました。

三部門とも有り難うございました。



## 本校舎耐震補強工事完了

本年7月より行われてきた本校舎東側の耐震補強工事が無事完了しました。12月21日(木)の県の完成検査をもって完了ということで当初の予定より1ヶ月半近く早い完成となります。この間、平日の日中は音の出ない工事を行うなど授業の妨げにならないよう極力配慮して下さいました。しかも併せて、階段部分のサッシの全面取り替え工事も行われ、雨漏りの心配も解消される予定です。感謝です。

3月11日に巨大地震に見舞われた本県ですが、こうして耐震補強工事を行って下さったのは本当にありがたいことです。災害にはこれからも油断することなく十分気を引き締めるとともに、強くきれいになった校舎を大事に使っていきましょう。

また、12月7日(水)本校敷地内で、放射線量率を計測しました。単位は全てマイクロシーベルト/h(時)です。

校庭: 0.17、弓道場脇: 0.30、

一体脇: 0.35

二体脇: 0.31

中庭東: 0.24

いずれも基準値

(1.0)以下で

した。今後も引き続き計測します。

